

飯館たちの芽研究会は、たちの芽を村の新しい産品として調査・研究し振興することを目的に、昨年6月1日に会員13人で発足しました。



▲会員のみなさん

本研究会では、緑色が鮮やかで茎が太く、食感の良い「あすは」という品種に統一して振興しています。

現在は、20人の会員と村産業課、県相双農林事務所農業普及部、JAそうま飯館総合支店の4者が一緒になって、たちの芽の振興に向けた取り組みを行っています。

具体的には、①栽培技術の研究及び習得、②村産品及び販路確立に関する調査・研究、③会員相互の情報交換と交流、以上の3点を事業計画の柱にし、栽培促進や販路確立に向け、これまで芽出し方法の研修や水耕栽培施設視察など、栽培の段階に合わせた現地指導会や先進地研修を実施してきました。



▲水耕栽培のたちの芽

現在は、1月から本格的に始まる出荷に向けて、JAそうまと協同でQRコードを活用した研究会独自のシールを作成し、消費者が携帯電話を利用して店頭から研究会やたちの芽についての情報を得られる仕組みづくりに取り組んでいます。



▲QRコードを活用した研究会独自のシール

また、1月には県内で先道的に取り組んでいる産地において出荷作業の研修を行い、さらに2月には役員による東京都中央卸売市場大田市場研修を実施するなど、生産販売体制の確立に向けた取り組みを進めることとしています。

安達会長も「たちの芽は力仕事がいらず高齢者の方にも向いている。それに、冬場の休農期に楽しんで栽培できるので、冬期間の収入を得る作物としては最適だと思う。まだ始めたばかりなので、軌道に乗るまではある程度村の支援をいただきながら、飯館村をたちの芽の一大産地にしていきたい」と強い意気込みを見せています。

入札結果

入札日/平成18年11月20日 (単位:千円)

工事(業務)等の名称 (実施箇所)	契約価格(税込み)	契約業者	完成予定
団体営調査設定事業 委託第1回(測量設計) (深谷字大森地内)	4,620	(有)武藤測量事務所	平成19年3月下旬
団体営調査設定事業 委託第2回(土質調査) (深谷字大森地内)	452	庄建技術(株)	平成19年2月中旬